

卒業生にエールを

今日から3月です。



3月といえば卒業シーズンですね。

本日、3月1日は県内の2つの看護専門学校の卒業式に出席しました。

3年間(助産学科は1年間)皆さんよく頑張りました。

そして、ご家族の皆さんの支えがあつてこそその卒業証書です。

おめでとうございます。

卒業生代表の方が答辞を述べました。内容を少しご紹介します。

「仲間と一緒にかけがえのない時間を共有できたことが宝。認知症の患者さんへの接し方が分からず戸惑ったけれど、生活の環境を整えることでよく眠れた。ありがとう。と感謝を伝えられた時、役に立って良かったと嬉しかった。これが私の看護の原点。私はこの気持ちを忘れないで進んでいく。」

素晴らしい言葉を聴くことができました。

ICTが進んで、医療器械が進化して、手を使わなくても器械が数値を示す時代です。

でも、数値が示す意味を考え、そして、手を使って、触れてみて、目でみなければ「対象となるその人」の事は分かりません。その人を理解することを忘れないで欲しいと願います。

この3年間頑張ったことを誇りに臨床で、地域で活躍されることを期待します。

大変な時もひとりで抱え込まないで、友達や同僚、家族、上司を頼ってくださいね。

看護協会も皆さんの事を全力でサポートします。

何とも晴れやかな一日でした。

みなさんはどんな一日をお過ごしでしたか



[Wonderful Dreams Shinkansen]が本日県内を走行中
掛川駅で遭遇した松井常務が提供してくれました。

今日もいいことたくさんありました